

# 2022年5月期 第3四半期 決算補足説明資料

2022年4月

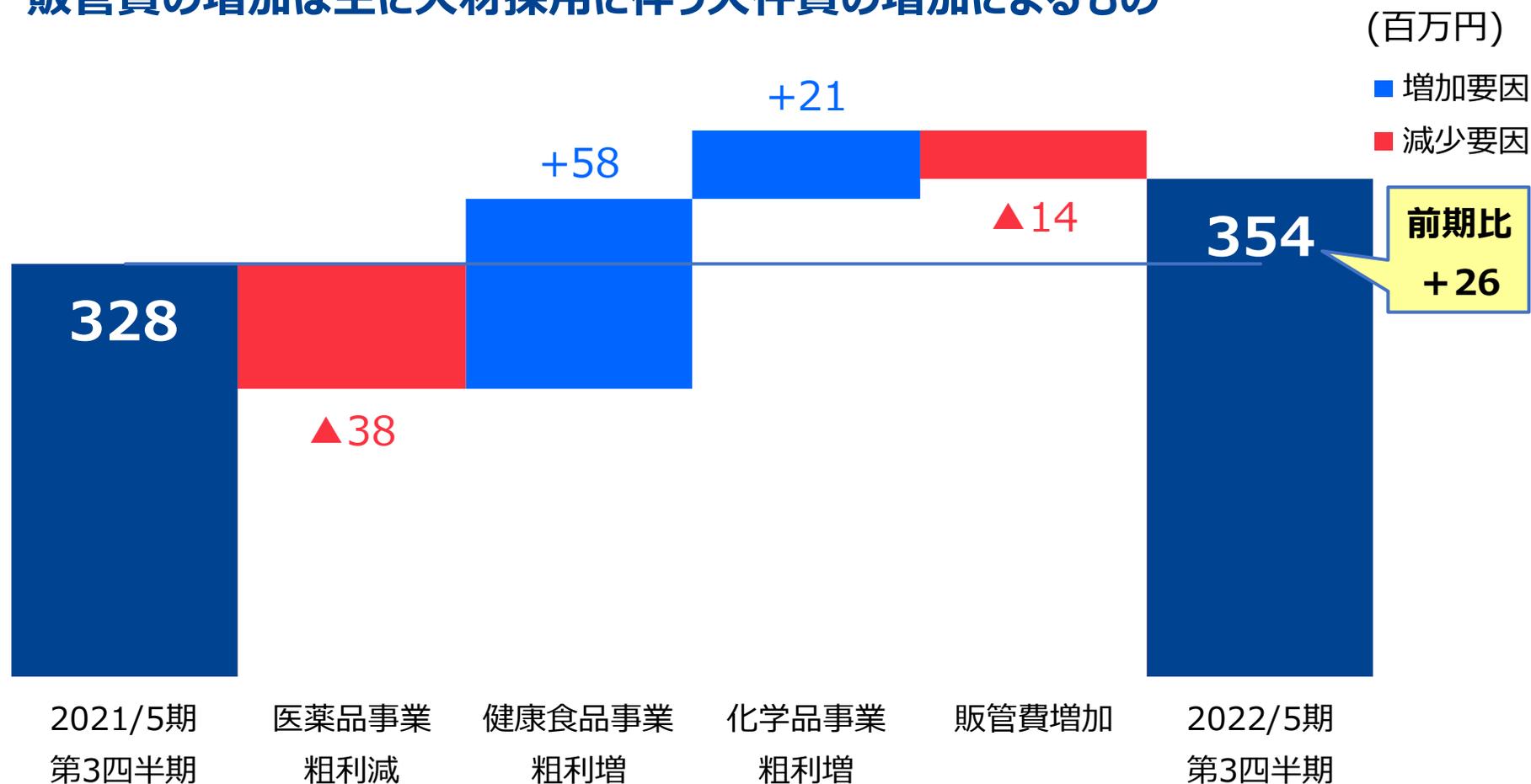


- 第3四半期においても前期比増収増益を達成
- 前年同期比：売上高 10.9%増、営業利益 8.1%増、経常利益 17.0%増

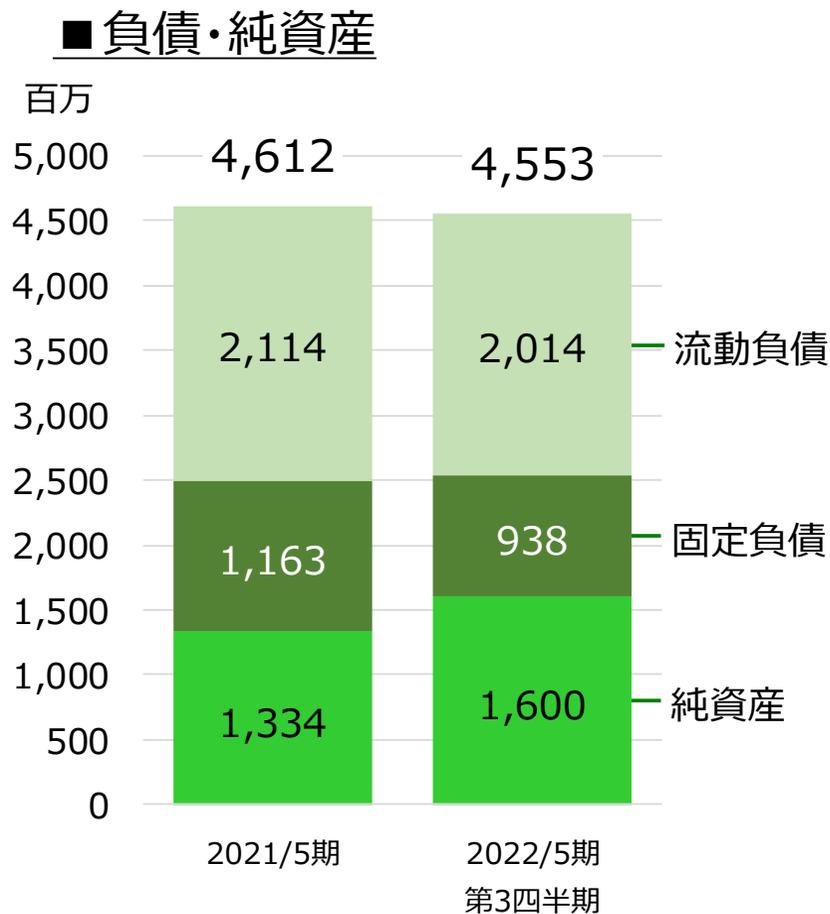
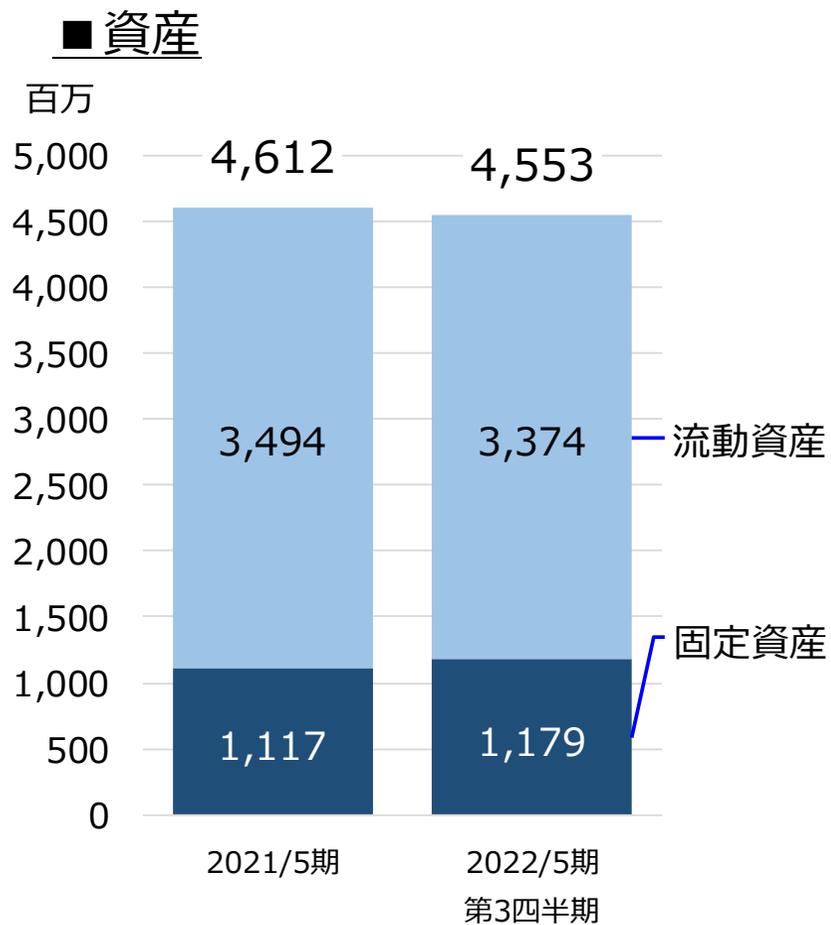
(百万円)

	2021/5期 第3四半期		2022/5期 第3四半期		前年同期比	
		構成比		構成比		増減率
売上高	3,687	100.0%	<b>4,087</b>	100.0%	400	10.9%
売上原価	2,428	65.9%	<b>2,787</b>	68.2%	359	14.8%
売上総利益	1,258	34.1%	<b>1,300</b>	31.8%	41	3.3%
販売費及び 一般管理費	930	25.2%	<b>945</b>	23.1%	14	1.6%
営業利益	328	8.9%	<b>354</b>	8.7%	26	8.1%
経常利益	303	8.2%	<b>354</b>	8.7%	51	17.0%
当期純利益	118	3.2%	<b>299</b>	7.3%	181	153.7%

- 健康食品事業及び化学品事業の売上増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益は増加
- 販管費の増加は主に人材採用に伴う人件費の増加によるもの



- 借入金の返済によって流動負債及び固定負債を圧縮
- 上記負債の圧縮と当期利益計上によって自己資本比率が改善

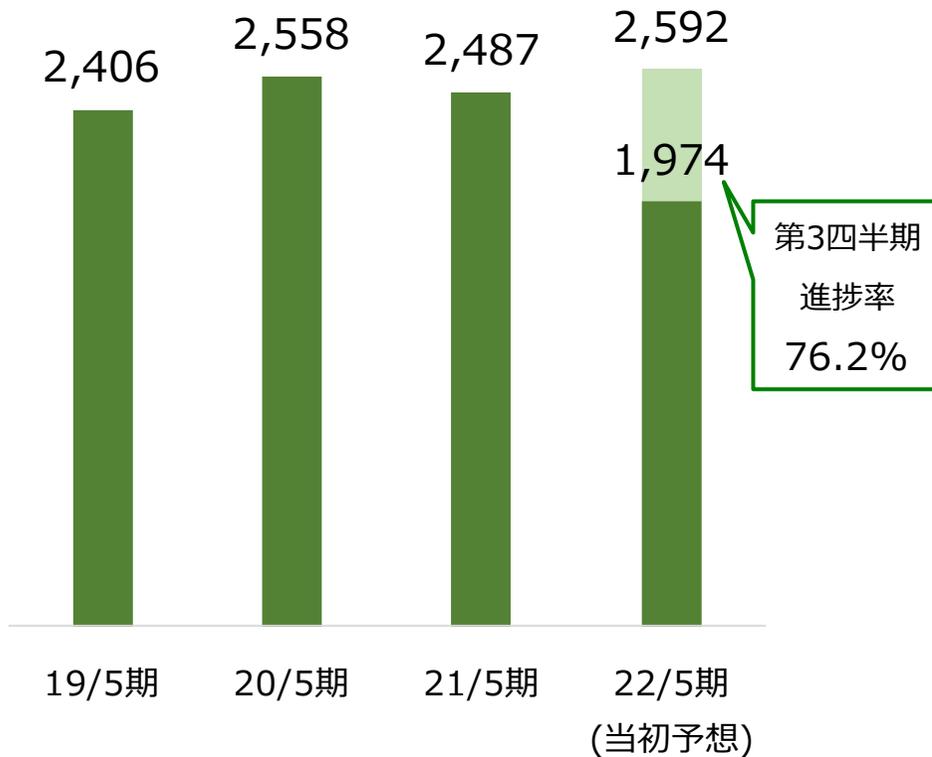


**自己資本比率 : 35.2% (前期末比 +6.2pt)**

**売上高** (前年同期比)  
**1,974百万円** (103.5%)

**営業利益** (前年同期比)  
**335百万円** (81.9%)

■ 売上高 (単位: 百万円)



- 主要商品である抗てんかん用原薬の売上が好調に推移
- 受託加工や少量合成の新規案件獲得が好調に進捗
- 売上が増加した製商品は売上総利益率が低いものが多く、利益率は低下

#### 医薬品事業の概要

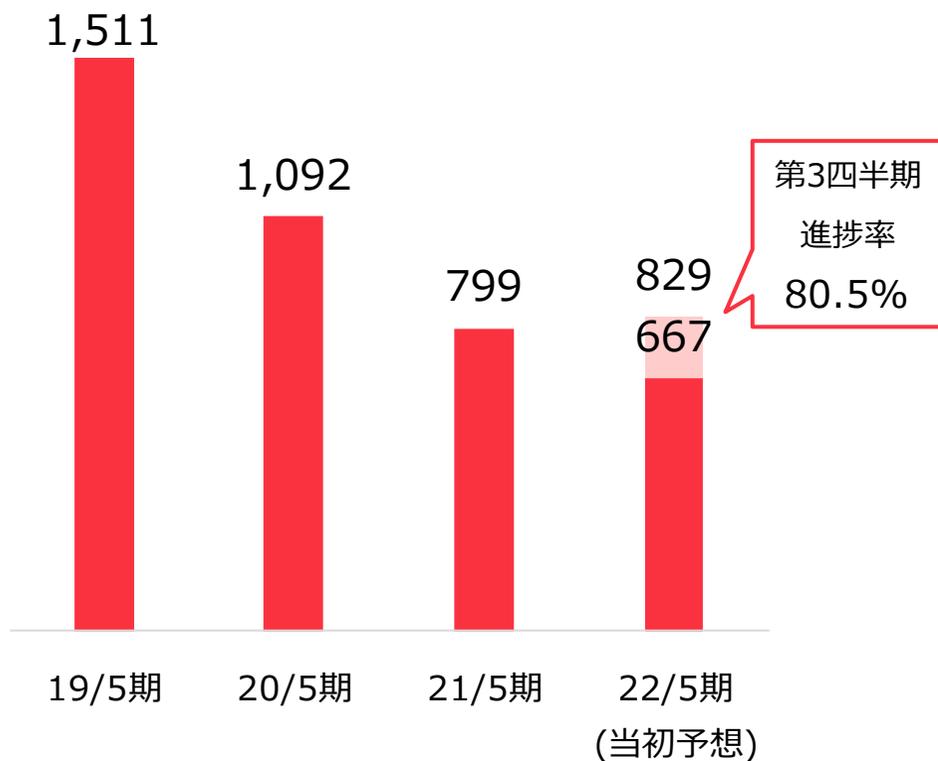
医薬品原薬（医薬品の有効成分）の製造・販売を行う。海外原薬メーカーから原薬を輸入販売する商社機能と自社工場での製造・加工を行うメーカー機能とを併せ持つ。採用実績のある輸入原薬の横展開によるシェア拡大を図るとともに、自社加工案件の獲得を進める。



**売上高** (前年同期比)  
**667百万円** (117.1%)

**営業利益** (前年同期)  
**21百万円** ▲ 52百万円

■ 売上高 (単位：百万円)



- OEMゼリーの既存顧客への売上は概ね堅調に推移
- 新規顧客・案件の獲得は順調に推移
- 第3四半期は設備（水冷設備自動化ライン）導入による稼働率の一時的な低下が発生し、営業利益減

### 健康食品事業の概要

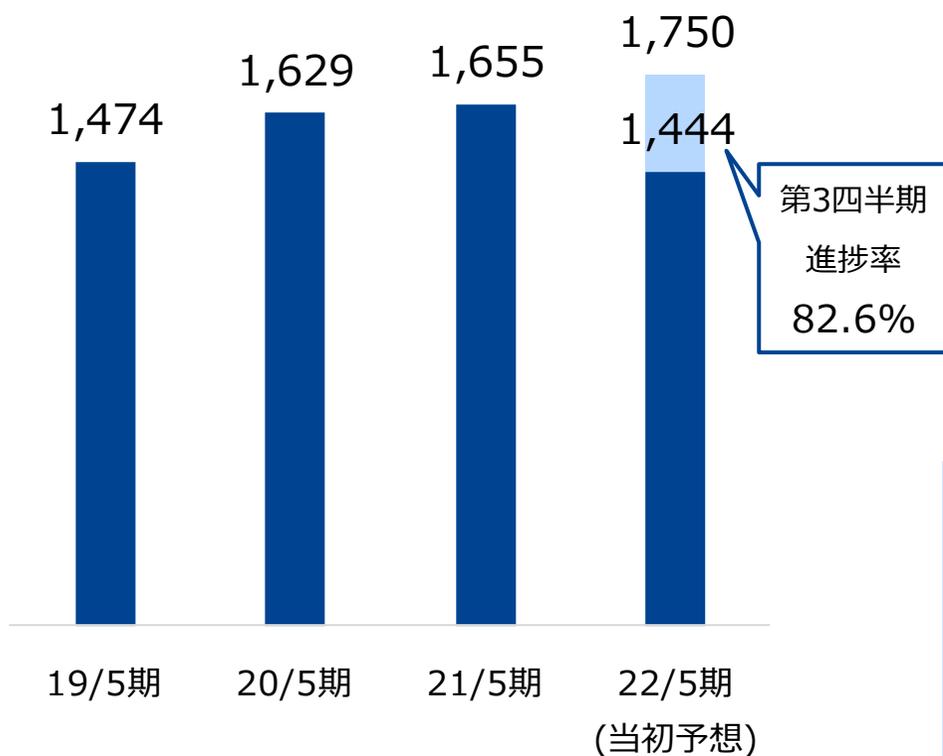
スティックゼリータイプの健康食品の企画・製造を行っており、ODM・OEM製造を主としている。健康・美容成分などの味や匂いを包み隠し、食べやすくするマスキング技術を強みとする。スティックタイプに加え、容量の大きいTPパウチ・ショットタイプも拡販を進める。



**売上高** (前年同期比)  
**1,444百万円** (119.5%)

**営業損失** (前年同期)  
**▲ 2百万円** ▲ 28百万円

■ 売上高 (単位：百万円)



- イオン交換樹脂販売の新規大口顧客獲得や大型装置案件の複数受注によって売上が増加
- 上記以外の製商品の売上は概ね前期並みで推移

### 化学品事業の概要

液体処理関連製品や接着剤等の機能性製品の販売・加工を行う。液体処理に使用されるイオン交換樹脂を主力としており、特殊な用途の液体処理案件にも対応する。海外のイオン交換樹脂メーカーとのイオン交換樹脂の共同開発にも力を入れている。



- 通期業績予想を上方修正
- 医薬品事業における抗てんかん用原薬の受注が好調に推移
- 化学品事業における新規大口顧客獲得や大型装置案件受注による売上増加

## 2022年5月期通期 業績予想修正

	修正後		修正前
売上高	5,600百万円	+8.3%	5,172百万円
営業利益	450百万円	+11.6%	403百万円
経常利益	450百万円	+17.9%	381百万円
当期純利益	390百万円	+17.1%	332百万円

当期決算発表時（2022年7月）に

現在の中期経営計画（2023年5月期・2024年5月期）の見通しについて

発表を予定

# 参考資料



会社名	室町ケミカル株式会社 (MUROMACHI CHEMICALS INC.)
代表者	代表取締役社長 青木 淳一
設立	1947年7月 (創立: 1917年1月)
資本金	143,172千円
従業員	195名 (2021年5月末現在)

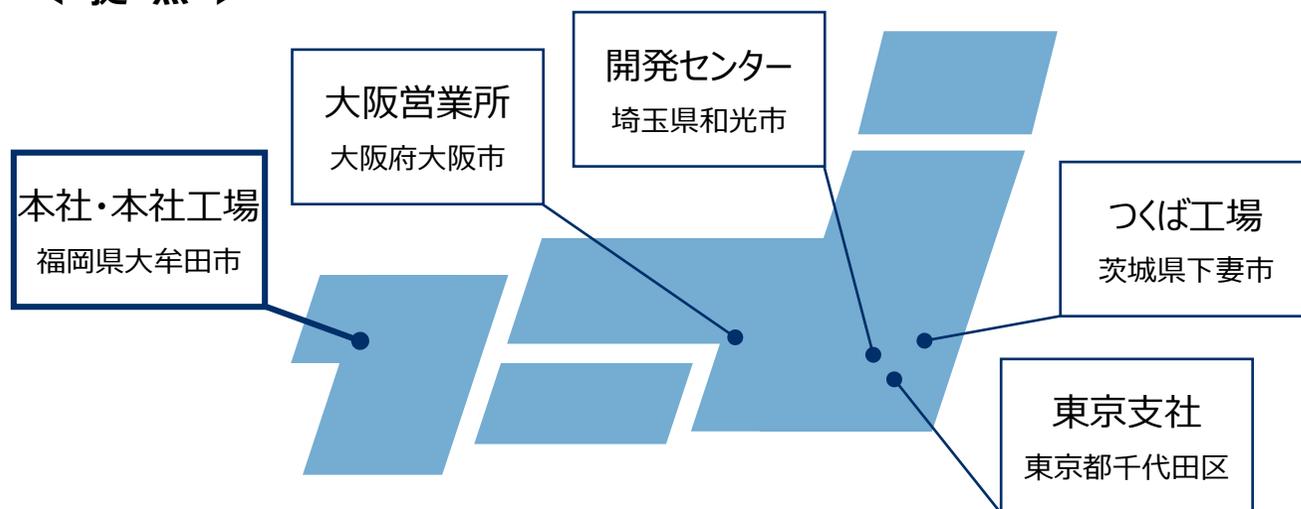


創立当時 (1917年頃)



大牟田市 本社工場

## < 拠点 >



- 明治期** 福岡県須恵町において「須恵目薬」の製造・販売開始
- 1917年** 福岡県直方市に「大洋製薬合資会社」を設立
- 1924年** 福岡市東区に移転『天洋社』と改称
- 1938年** 福岡市南区に移転。
- 1944年** 戦時企業整備（県内の製薬会社を1社にする制度）により会社を解散し、一時廃業
- 1947年** 戦後、「鉄ペプトン製薬有限会社」として再設立
- 1948年** 販売会社として、「株式会社天洋社」を再設立
- 1950年** 「株式会社天洋社」を「鉄ペプトン製薬有限会社」に合併し、社名を「天洋社薬品有限会社」とする。
- 1952年** 社名を「天洋社薬品工業株式会社」と改称
- 1971年** ムロマチグループに参入
- 1996年** 福岡県大牟田市に本社工場を新築移転
- 1998年** 『室町ケミカル株式会社』に社名変更
- 1999年** 医薬品第二工場を新設 ISO9001認証取得
- 2003年** 本社隣接地に物流倉庫新設
- 2005年** 『天洋社薬品株式会社』設立 東京支店開設
- 2006年** 健康食品製造工場操業開始  
表面処理工場操業開始
- 2009年** 新事務所竣工
- 2010年** コンパウンド工場操業開始 表面処理事業より撤退
- 2010年** 室町(上海)商貿有限公司設立
- 2011年** 第三医薬品工場新設 尿素水工場操業開始  
ムロマチテクノス株式会社より、つくば工場譲受
- 2013年** 新勝立倉庫竣工  
東京都千代田区神田駿河台に東京支店を移転
- 2014年** 『東進ケミカル株式会社』の全株式を取得し  
100%子会社化  
ムロマチテクノス株式会社を吸収合併
- 2016年** つくば工場にインキ接着剤工場を新設  
機能性樹脂コンパウンド事業より撤退  
大牟田本社に医薬品ゼリー工場を新設
- 2017年** 東進ケミカル株式会社を吸収合併  
大牟田本社に医薬品合成工場を新設
- 2018年** 天洋社薬品株式会社を吸収合併
- 2019年** 埼玉工場を閉鎖
- 2020年** 埼玉県和光市に埼玉開発センターを開設
- 2021年** 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)市場に上場

## 「医薬品」「健康食品」「化学品」の3事業

### 医薬品事業

医薬品原薬（薬の有効成分）の製造・販売



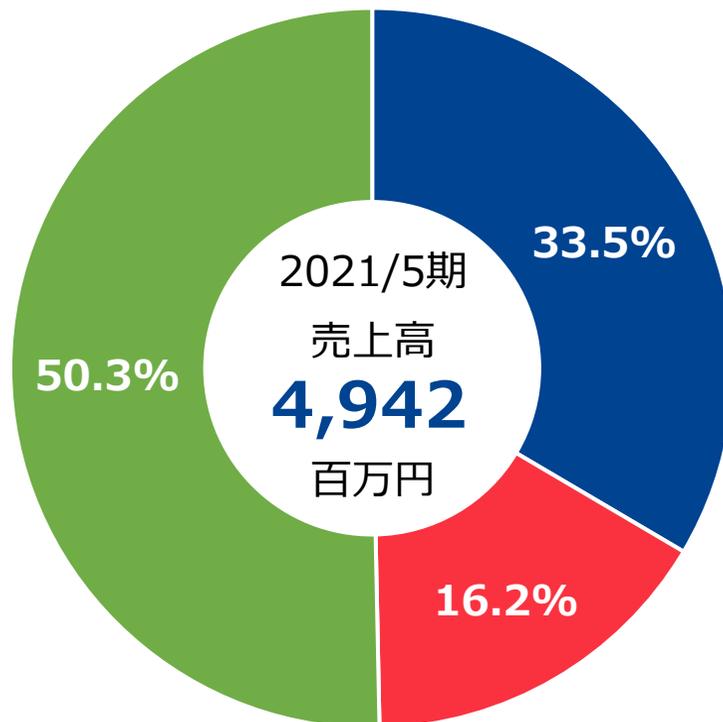
原薬の製造



原薬の精製・異物除去



海外原薬の輸入販売



### 化学品事業

液体から不純物を取り除く液体処理製品の販売・加工



イオン交換樹脂



分離膜



水処理装置



イオン交換樹脂再生設備

### 健康食品事業

スティックゼリータイプなどの健康食品の企画・製造



スティックゼリー



Tパウチゼリー

## 長年培った技術を活かし、お客様の事業をサポートします。

### 医薬品 事業

#### メーカー機能と商社機能を併せ持ち、原薬に関わる様々なサービスを提供

品質と価格を満たす原薬を調達できる「商社機能」と医薬品製造の「メーカー機能」を併せ持ち、輸入・製造・加工・分析とトータルサービスを提供します。

### 健康食品 事業

#### 高度なマスキング技術で、求める“おいしさ”を具現化

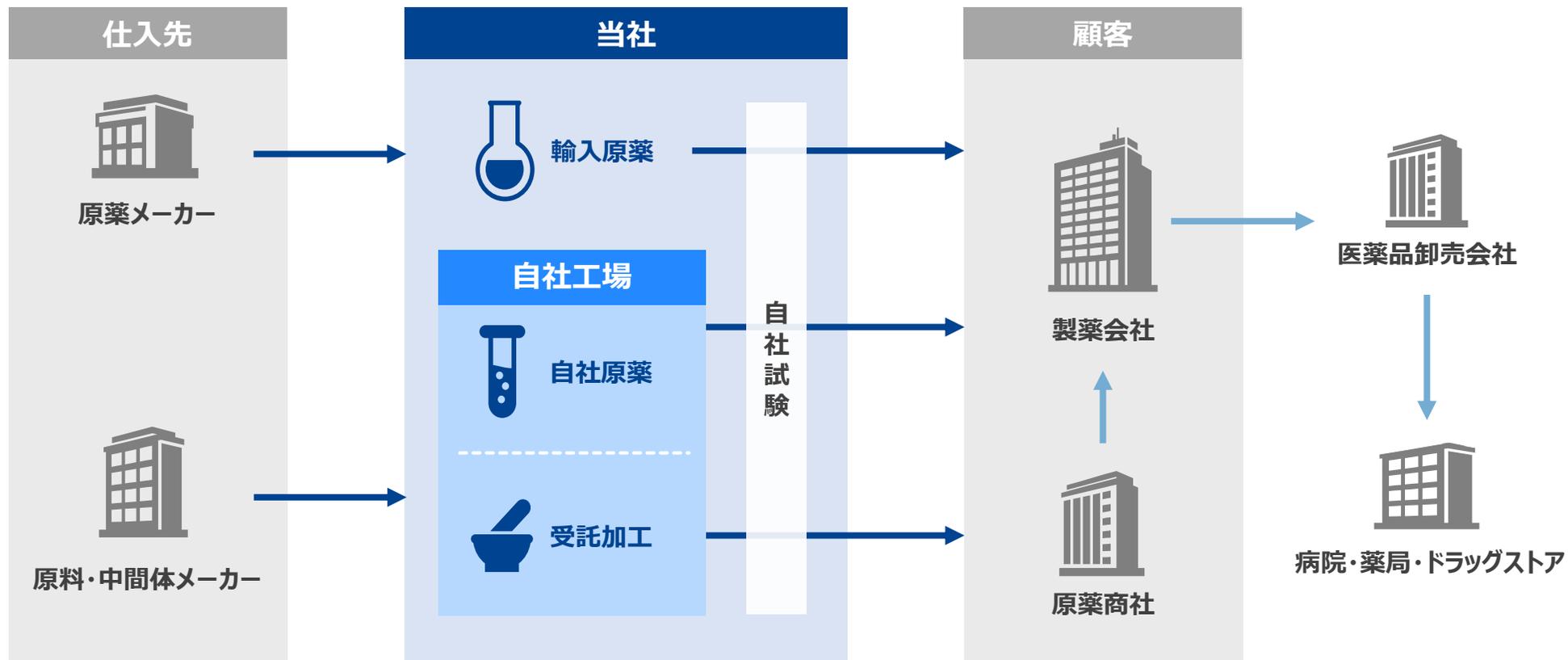
健康・美容成分には食べづらい味や匂いのももありますが、それらを包み隠す「マスキング技術」で、食べる健康食品にとって重要な「おいしさ」を追求しています。

### 化学品 事業

#### 特殊な用途にも対応できる技術で液体処理の課題を解決

排水の処理や薬品の精製など、案件によってカスタマイズが必要な特殊な用途でも、豊富な製品ラインナップと培ってきたノウハウで、最適な製品や処理方法をご提案します。

病院や薬局などで提供される医薬品は、有効成分となる「原薬」と様々な添加剤で出来ています。当社の医薬品事業では、この「原薬」の製造・販売を行っています。現在当社が取り扱っている原薬は、ジェネリック医薬品\*・医療用医薬品\*向けが主となっております。



\* ジェネリック医薬品(後発医薬品)

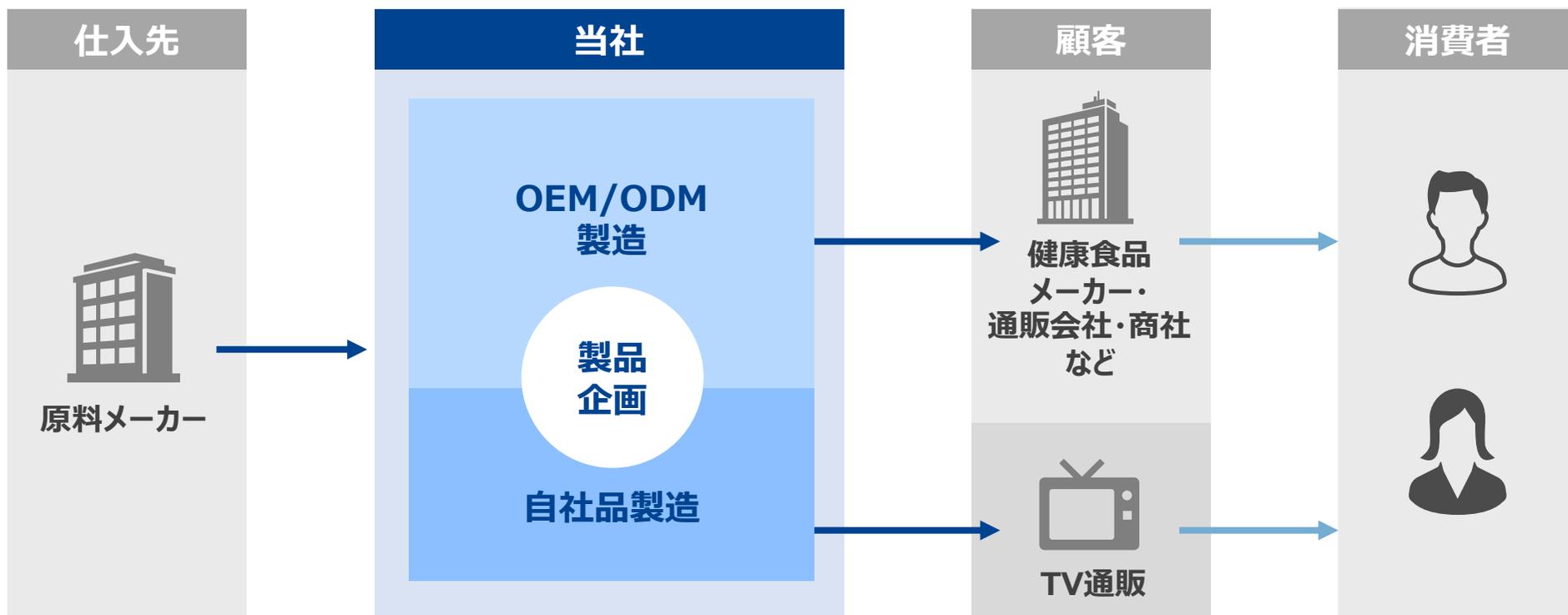
・・・新薬(先発医薬品)の特許が切れた後、同じ有効成分を使って製造される薬。新薬に比べ開発費用が抑えられるため低価格で提供される。

\* 医療用医薬品(医家向け医薬品)

・・・病院で医師の診断をもとに処方してもらう薬のこと。対して、薬局等で購入できる薬を一般用医薬品(OTC薬品、市販薬)という。

健康食品には、錠剤、カプセル、粉体、ドリンクなど様々な形態がありますが、当社は、「スティックゼリー」タイプの健康食品の企画・製造を行っています。現在は、OEM・ODM\*が主となっており、売上の8割を占めています。

スティックゼリーの健康食品は、おやつ感覚でおいしく、水が無くても摂取できる、携帯しやすい、などの特徴があります。



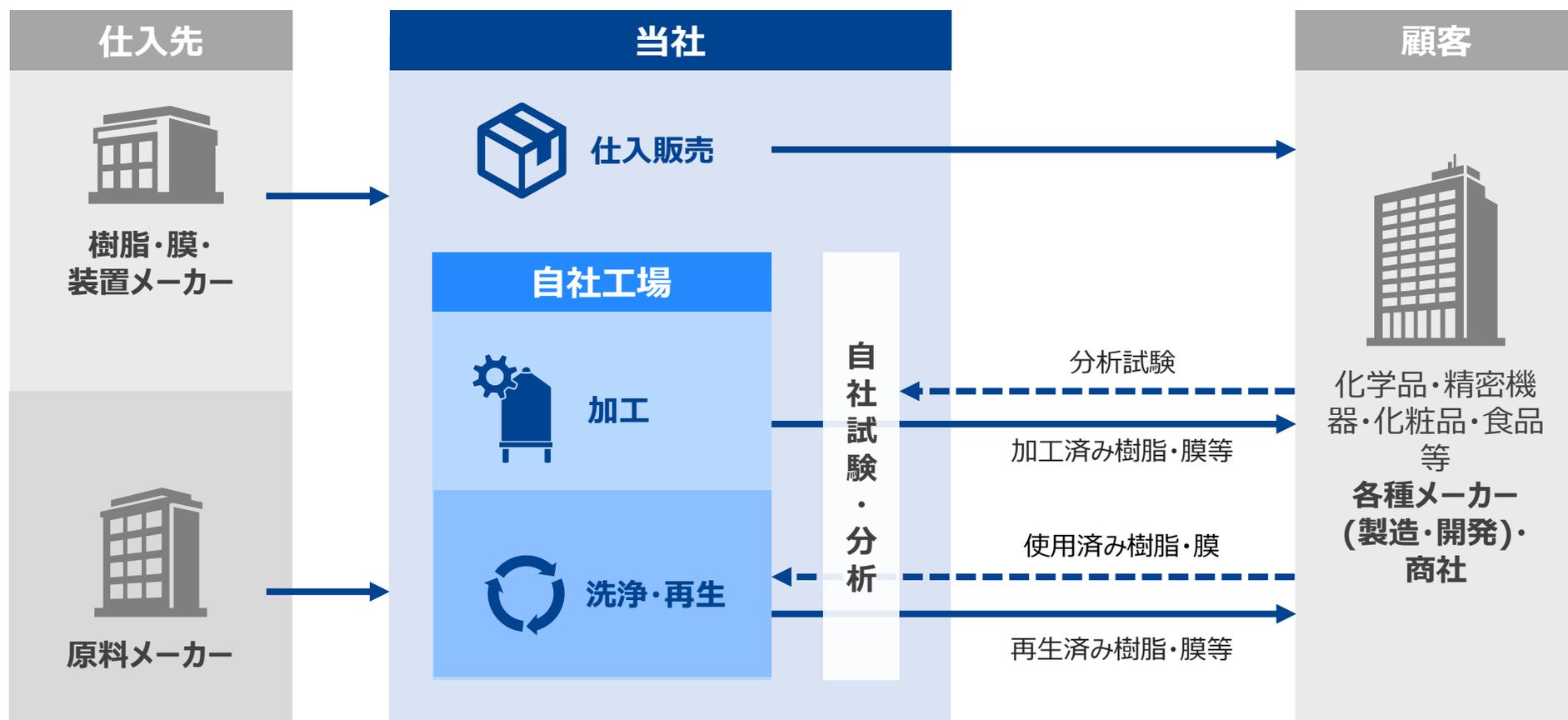
\* ODM (Original Design Manufacturing)

…発注元企業のブランド名で販売される製品の、製造のみを行うOEM (Original Equipment Manufacturing) に対し、ODMは企画や設計、製造までを行う。

液体処理に使用される「イオン交換樹脂」や「分離膜」を取り扱っています。目的に適した製品の提案をするほか、使用に適するよう加工も行います。

様々な業界の製造や開発の現場で使用される純水や軟水の製造、薬品の精製、排水の処理など、活用される場面は多岐にわたります。

他に、接着剤やペーストなど機能材料の加工や販売をおこなっています。



## 医薬品事業

- 輸入原薬の横展開によるシェア拡大
- 受託加工・開発案件の獲得

## 健康食品事業

- 新包装形態『Tパウチ・ショット』
- 原料メーカーや機械・包材メーカーとの協業（新規案件の獲得、提案製品の開発）

## 化学品事業

- 海外イオン交換樹脂メーカーとの共同開発  
（特殊用途に対応した製品開発、既存製品の代替品供給）
- 成長が見込まれる半導体関連やエネルギー関連への拡販を強化



<https://www.muro-chem.co.jp/>

本資料に関するお問い合わせ先  
室町ケミカル株式会社 経営企画室  
TEL : 0944-41-2131  
FAX : 0944-41-2133

### ＜本資料取扱上の注意点＞

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、経営環境の変化等により、予告なしに変更される可能性があります。また、実際の業績等は様々な要因により変動する可能性があります。

掲載の内容については未監査の数値も含まれており、確度を保証するものではありません。また、掲載された情報やその誤りについて、その理由に関わらず、当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は投資家の皆様当社をご理解いただくことを目的として当社が作成したものであり、投資勧誘を目的にしたものではありません。投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。